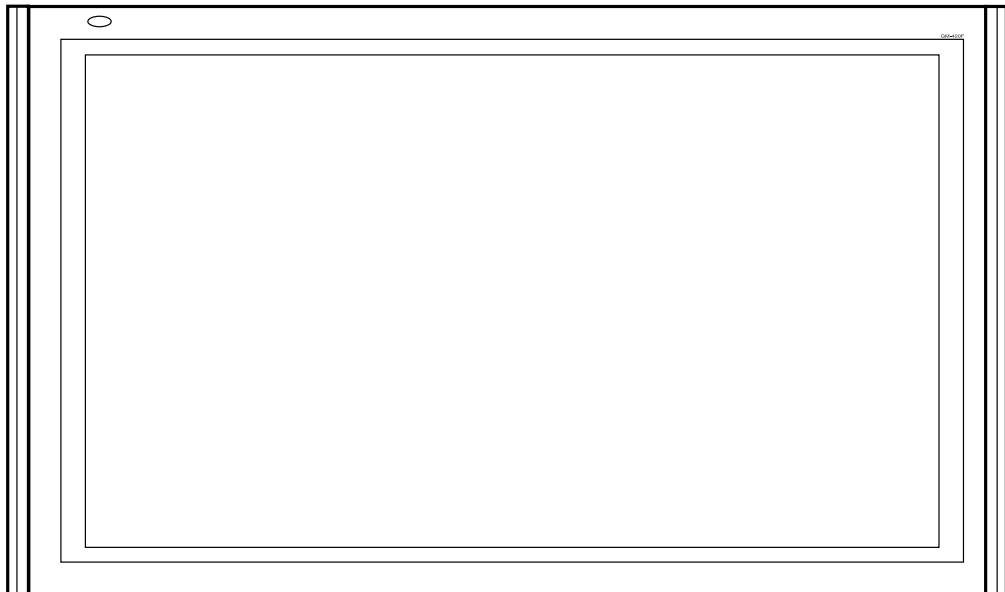


# プラズマディスプレイモニター

型名 **GM-420F**

## 取扱説明書



お買い上げありがとうございます

### ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
特に「安全上のご注意」(3～6ページ)は、必ずお読みいただき、  
安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、  
必要なときにお読みください。

# 本機の特長

## 青色の発色に優れた42型・大型ワイドプラズマパネルを採用

ブラウン管方式に近い美しい色再現が可能です。

## ビクター独自の新・高画質化回路搭載

デジタル表示素子特有の“疑似輪郭妨害”を低減した、ビクター独自の新・高画質化回路を搭載しました。きわめて自然な映像再生が可能です。

## ホワイトバランス調整機能を搭載

プラズマディスプレイモニターにRGB各色256階調のホワイトバランス調整機能を搭載しました。

## ピクセルシフト機能を搭載

静止画を長時間表示していても、一定時間で描画位置を移動させ、“焼き付き”を軽減します。

## 全色反転モード（カラーリバーブ機能）を搭載

「カラーリバーブ機能」を使用することによって、プラズマディスプレイモニター特有の残像現象を軽減します。

## アワーメーター

使用時間を確認することができますので、保守点検作業にご利用いただけます。

## 自己診断表示機能を搭載

プラズマディスプレイモニターに不具合が発生しても、自己診断回路がその原因を自己診断し、表示します。

## 目次

|      |                          |    |
|------|--------------------------|----|
| はじめに | 本機の特長 .....              | 2  |
|      | 安全上のご注意 .....            | 3  |
|      | その他のご注意 .....            | 7  |
|      | お手入れのしかた .....           | 7  |
|      | 各部の名称 .....              | 8  |
|      | 本体 .....                 | 8  |
|      | リモコン .....               | 10 |
| 準備   | 付属品を確かめる .....           | 11 |
|      | 電池の入れかた .....            | 11 |
|      | 設置する .....               | 12 |
|      | 設置するときの注意 .....          | 12 |
|      | 接続する .....               | 13 |
|      | 接続例 .....                | 13 |
| 操作   | 基本の操作 .....              | 14 |
|      | 画面サイズの切り換え .....         | 15 |
|      | 映像調節 .....               | 16 |
|      | 画質を調節する .....            | 16 |
|      | 画面の大きさ／位置を調節する .....     | 17 |
|      | アスペクトを切り換える（画面サイズ） ..... | 18 |
|      | 各種設定 .....               | 19 |
|      | 画面表示を出す .....            | 19 |
|      | 入力切り換え時に画面表示を出す .....    | 19 |
|      | ホワイトバランスを調節する .....      | 20 |
|      | 省電力設定にする .....           | 21 |
|      | 画面の焼き付きを軽減する .....       | 21 |
|      | 焼き付きなどの残像現象を軽減する .....   | 22 |
|      | 変更した設定をリセットする .....      | 22 |
|      | 変更した設定を全てリセットする .....    | 23 |
|      | 合計使用時間と機種名を確認する .....    | 23 |
| その他  | 故障かな?と思ったら .....         | 24 |
|      | 自己診断表示 .....             | 25 |
|      | メニューの構成 .....            | 26 |
|      | 保証とアフターサービス .....        | 28 |
|      | 仕様 .....                 | 29 |

# 安全上のご注意

## 「安全上のご注意」の絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。

これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。



### 警告

この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。



### 注意

この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、傷害を負ったり、物的損害が想定される内容です。十分注意してください。

## 絵表示の説明

### ●注意（警告を含む）が必要なことを示す記号



一般的注意



感電注意

### ●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



禁止



水場での  
使用禁止



ぬれ手禁止



分解禁止



接触禁止



水ぬれ禁止

### ●必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号



電源プラグを抜く



一般的指示



アース線をつなぐ



### 警告

万一、次のような異常が発生したときは

- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- プラズマディスプレイモニターの内部に水や物が入ってしまったとき。
- プラズマディスプレイモニターを落としたり、キャビネットが破損したとき。
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）。



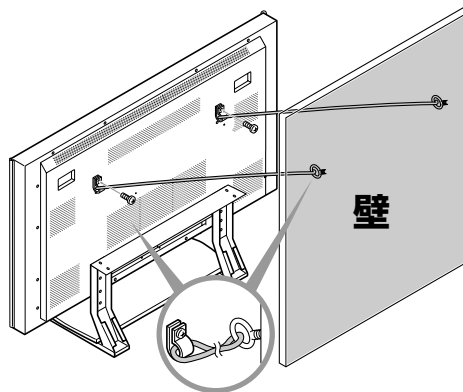
このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、（煙などが出ていたときは、それが出なくなったことを確かめてから）販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

## 転倒・落下防止の処置をしてください

地震など非常時の安全確保と、事故を防止するために、落下や転倒を防止する処置をしてください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。詳しくは販売店にご相談ください。

プラズマディスプレイモニターの設置にはオプションのユニットが必要です。設置は必ず「取付工事専門業者」にご依頼ください。



# 安全上のご注意（つづき）

## 警告

### 設置するときの警告

- **不安定な場所に置かない**  
ぐらついている台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。
- **専門の知識や技術のないかたは設置工事をしない**  
専門の知識や技術が必要です。設置工事（天井などへの取り付け）は必ず販売店（専門の技術者）にご依頼ください。専門の知識や技術のないかたが行なうと、けがや感電をする原因となります。
- **プラズマディスプレイモニターの荷重に耐えられない場所には設置しない**  
プラズマディスプレイモニターの荷重に耐えられない場所には設置しないでください。設置場所の強度が弱いと、落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。
- **指定の電源電圧（交流100V）以外で使用しない**  
表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- **プラズマディスプレイモニターの通風孔（排気口・吸気口）をふさがない**  
通風孔（排気口・吸気口）をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となります。次のことにご注意ください。
  - ・押し入れ、本箱など狭いところに入れない
  - ・じゅうたんや布団などの上に置かない
  - ・テーブルクロスなどを掛けない
  - ・横倒し、逆さま、あお向けにしない
- **壁や他の機器と間隔をあけて設置する**  
内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のことに注意してください。
  - ・壁や家具などから離す（12ページ）
  - ・他の機器との間隔をあける

## 注意

### 設置するときの注意

- **次のような場所に置かない**  
火災・感電の原因となることがあります。
  - ・湿気やほこりの多いところ
  - ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたる場所
  - ・熱器具の近くまた、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットが変質することがあります。
- **電源コードを抜くときは壁側のコンセントから抜く**  
壁側のコンセントから抜かないと感電の原因となることがあります。  
電源コードは壁側のコンセントから先に抜き、そして、プラズマディスプレイモニター本体側の順で抜きます。また、抜くときは必ずプラグをもって抜いてください。
- **付属の電源コード以外を使用しない**  
性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
- **移動するときは接続コード類を外す**  
コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、接続コードなどを外してください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。  
また、プラズマディスプレイモニターは重いので、バランスに気をつけて持ってください。けがの原因となることがあります。運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。
- **機器との接続がすべて終わってから電源プラグをつなぐ**  
コンセントに差したまま接続したりすると、感電の原因となることがあります。また、プラズマディスプレイモニターの電源コードはプラズマディスプレイモニター本体につないでから、壁のコンセントに差し込んでください。

## ● 安全アースを接続する

安全アースを接続しないと感電の原因となることがあります。

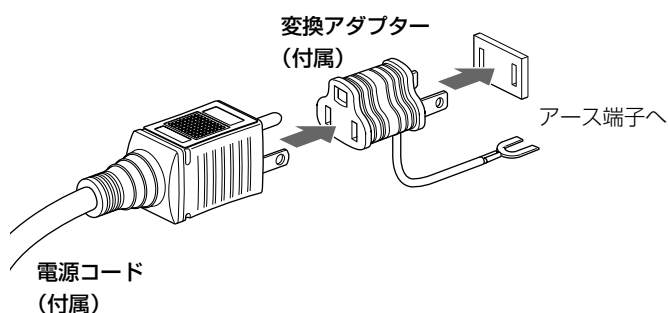
### ・電源コンセントが3極の場合

付属の電源コードを接続すると、安全アースも接続されます。

### ・電源コンセントが2極の場合

付属の変換アダプターをつなぎ、変換アダプターから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子につないでください。

・アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行なってください。また、アース接続を外す場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。



## 警告

### 使用するときの警告

#### ● プラズマディスプレイモニター内部に物を入れない

金属や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災・感電の原因となります。特に小さいお子様には注意してください。



#### ● プラズマディスプレイモニターに水をかけない

公衆浴場、温泉、風呂場などでは使用しないでください。水が入ったり、ぬれたりしないようにしてください。火災・感電の原因となります。水などの入った容器（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）は、こぼれたりしますので、プラズマディスプレイモニターの上に置かないでください。



また、雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは特にご注意ください。

#### ● 電源プラグやコンセントにほこりや金属が付着したまま使用しない

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布でふいてください。



#### ● 電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを加工したり・無理に曲げたり・ねじったり・引っ張ったり、電源コードを熱器具に近づけたりしないでください。電源コードを傷つけると、火災・感電の原因となります。



電源コードが切れたり、芯線が出たりしたときは、販売店に電源コードの交換を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

#### ● プラズマディスプレイモニターのキャビネットやカバーは外さない

プラズマディスプレイモニター内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。



#### ● プラズマディスプレイモニターを改造しない

火災・感電の原因となります。



#### ● 雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。



# 安全上のご注意（つづき）

## 注意

### 使用するときの注意

- プラズマディスプレイモニターの上に物を置かない

重いものやプラズマディスプレイモニター本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



- 長期間プラズマディスプレイモニターを使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントにつないでいると、主電源スイッチを切っても微弱な電流が流れます。電流を完全に遮断するには、電源プラグをコンセントから抜いてください。



- プラズマディスプレイモニターの上に乗らない、ぶら下がらない

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



- お手入れをするときは電源コード（電源プラグ）を抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



- 付属の電源コードを他の機器に使用しない

火災・感電の原因となることがあります。



- 電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災や感電の原因となることがあります。



- 乾電池の使い方に注意する

乾電池は間違った使い方をする、と、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。次のことにご注意ください。



もし液がもれた場合は電池ケースについた液をよく拭き取ってください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。



- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- ・種類の違う電池を混ぜて使わない
- ・電池ケースのプラス（+）とマイナス（-）の表示どおりに入れる
- ・指定された電池以外は使わない
- ・電池（電池ケース）のプラス（+）とマイナス（-）をショートさせない
- ・加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない
- ・長時間使用しないときは、電池を取り出しておく

- 根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない

発熱して、火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



- 電源プラグはコードの部分を持って抜かない

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- 3年に一度はプラズマディスプレイモニター内部の掃除を販売店に依頼する
- プラズマディスプレイモニターの内部にホコリがたまったらそのまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。



# その他のご注意

## 画面の焼き付きについて

- 同じ静止画像を長時間映したり、異常に明るい画像は映さない

高輝度な画面や高コントラストな画面を持つ映像などは映さないでください。画面に画像が焼き付くことがあります。

特にビデオゲームなどの静止画像には注意してください。

通常のビデオ再生映像などでは問題ありません。

## 残像について

- 静止画を長時間表示していると電源を切ったり、画面を切り換えても映像がぼんやりと映っていることがあります。（しばらくすると消えます。）これはプラズマディスプレイモニターの特性で、故障ではありません。

## 赤外線を使用した機器への妨害について

- 本機から赤外線が出るため、赤外線リモコンを使用した機器の誤動作が発生したり、赤外線ワイヤレスマイク・ヘッドホンなどに雑音が入ることがあります。このような場合は影響の出ない位置まで離してください。

## 見る場所（部屋の明るさ）について

- 部屋の明るさは  
直射日光や照明が画面に直接あたらないように、カーテンなどでさえぎってください。部屋の明るさは、暗くすることにより、より良い映像でご覧いただけます。
- 連続して長時間、画面を見ない  
連続して長い時間、画面を見ることは目を疲れさせますのでよくありません。ときどき目を休めてください。

# お手入れのしかた

- キャビネットの汚れは

柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、乾いた布でから拭きしてください。

- キャビネットが変質したり、傷付いたり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

- ・ 堅い布で拭かない
- ・ 強く拭かない
- ・ シンナーやベンジンで拭かない
- ・ 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ・ ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない

- 画面の汚れは

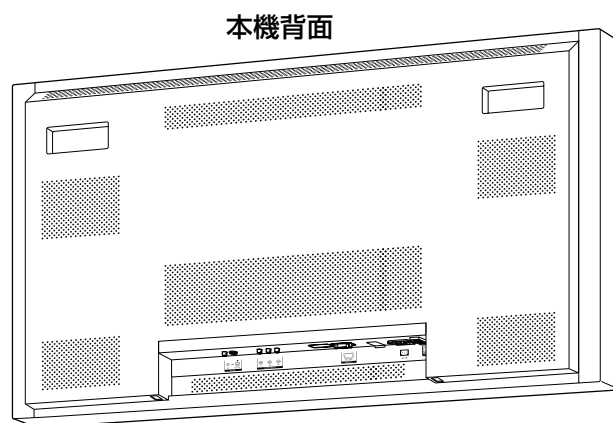
柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってから拭いてください。

ホコリなどが付着するときは、市販の静電気防止剤を、柔らかい布に少量スプレーしたあと軽く拭いてください。

- ・ アルコール、アセトンなどの有機溶剤は使わない
- ・ アルカリ洗剤、酸性洗剤は使わない

- 通風孔に付着したホコリは

本機背面の通風孔に付着したホコリは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときは、布で拭き取ってください。通風孔にホコリなどが付着したまま放置すると内部の温度が調節できなくなり、故障などの原因となることがあります。

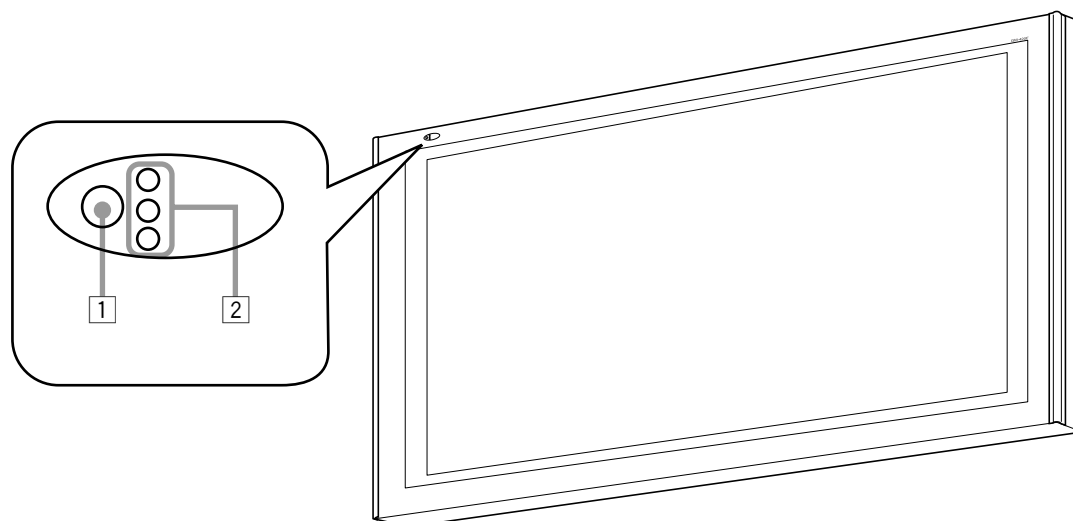


：通風孔

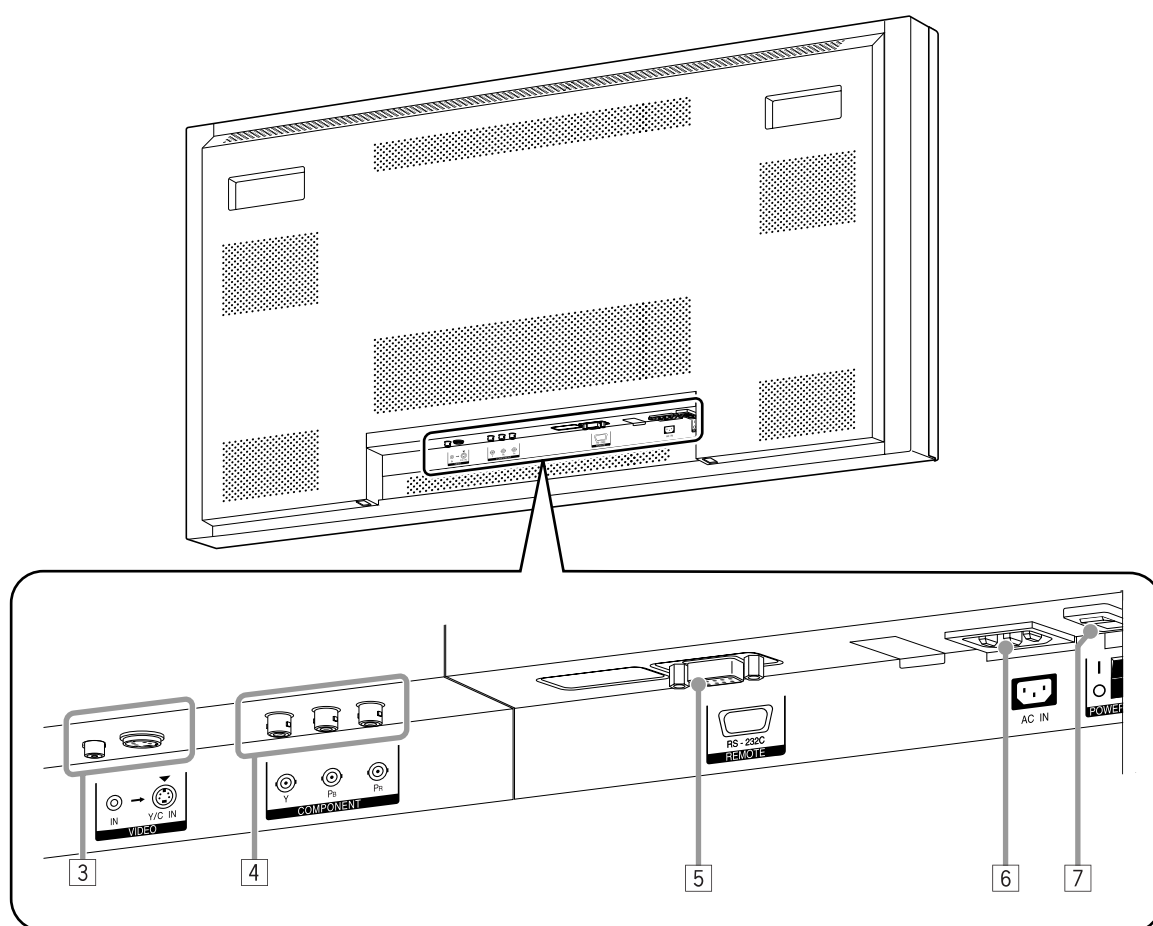
# 各部の名称

## 本体

前面



背面



### ① リモコン受光部／電源ランプ（14ページ）

ワイヤレスリモコンの先端をここに向けます。

また、本体の電源が入っているときには、電源ランプが緑色に、スタンバイモードのときはオレンジ色に点灯します。

### ② 自己診断ランプ（25ページ）

本機に異常が起きたときに、点灯／点滅します。

### ③ VIDEO（ビデオ）端子（13ページ）

IN（コンポジット映像入力）端子（ピンジャック）

ビデオデッキなどのコンポジット映像出力端子とつながります。S映像（Y/C）入力端子と同時に使うときは、S映像（Y/C）端子の映像が優先され画面に映ります。

Y/C IN（S映像）入力端子（Y/C）

ビデオデッキなどのS映像（Y/C）出力端子とつながります。

### ④ COMPONENT（コンポーネント）入力端子（13ページ）

Y、P<sub>B</sub>、P<sub>R</sub>（コンポーネント）入力端子（BNC）

付属の映像入力ケーブルでD映像出力端子とつながります。

### ⑤ REMOTE端子（13ページ）

RS-232C（RS232Cコントロール）入力端子（D-sub 9ピン）

パソコンのRS-232C端子とつながります。

この端子を使った制御法については、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

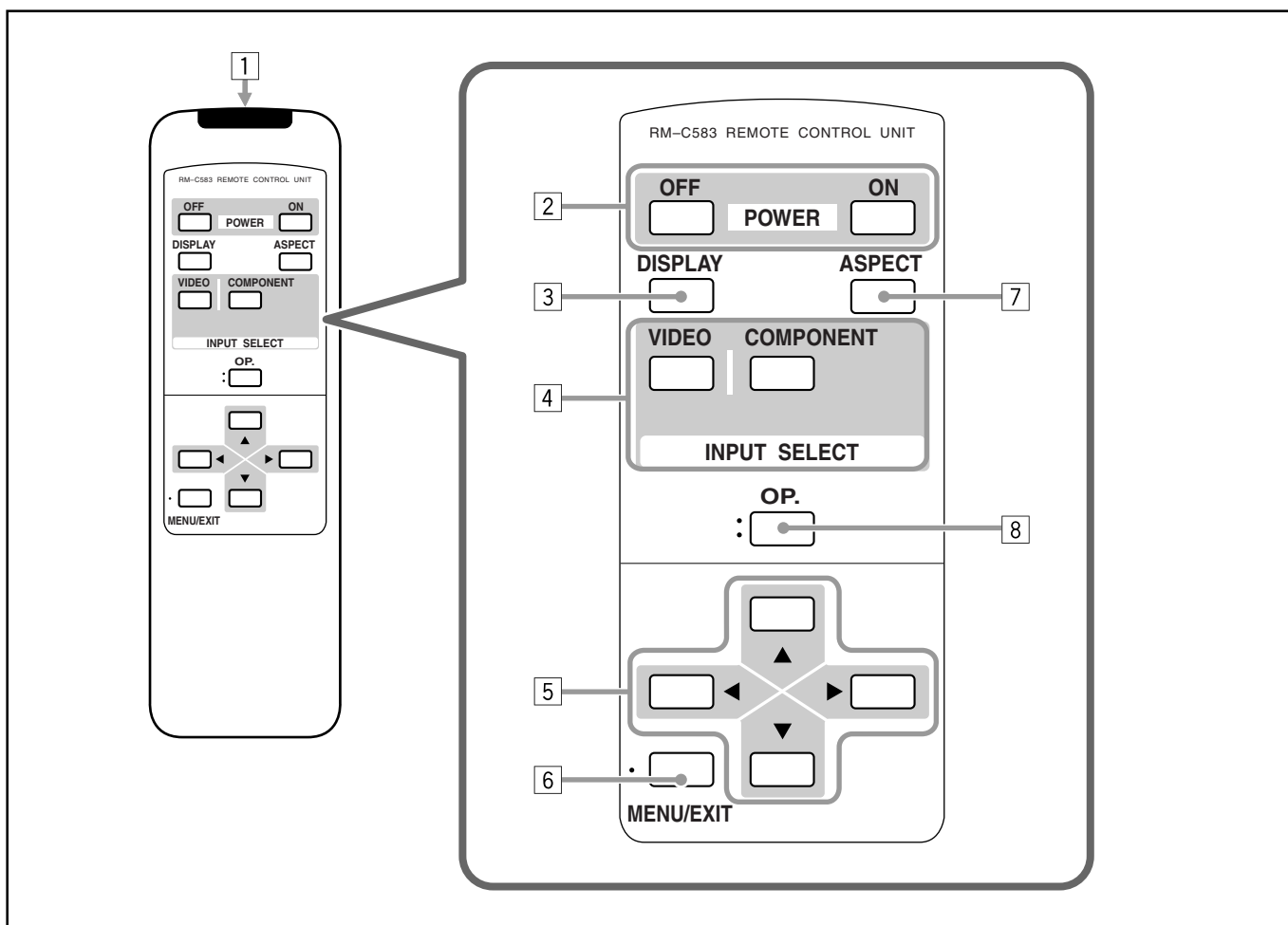
### ⑥ AC IN（電源入力）（100V）端子（13ページ）

付属の電源コードをつなぎます。

### ⑦ POWER（主電源）スイッチ（14ページ）

「I（ON）」にすると、リモコンのPOWER ON/OFFボタンで本機の電源を「入／切」できます。

## リモコン



**① リモコン送信部**

**② POWER ON/OFF (電源オン／オフ) ボタン (14ページ)**

背面のPOWER (主電源) スイッチが「I (ON)」のときに、本機の電源を「入／切」します。

**③ DISPLAY (画面表示) ボタン (14ページ)**

入力端子と、カラー方式 (VIDEO入力するとき)、走査方式 (COMPONENT入力するとき) を表示するときに使います。

**④ INPUT SELECT (VIDEO、COMPONENT) ボタン (14ページ)**

入力を切り換えるときに使います。  
**VIDEO (コンボジット/Sビデオ) 入力**  
 VIDEOボタンを押します。  
**COMPONENT入力**  
 COMPONENTボタンを押します。

**⑤ カーソル (▲/▼/◀/▶) ボタン**

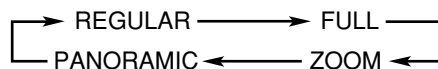
メニュー項目を選んだり、調節するときに使います。

**⑥ MENU/EXIT (メニュー／エグジット) ボタン**

メニューを表示したり、消したりするときに使います。  
 サブメニューが表示されているときは、1つ前のメニュー画面に戻ります。

**⑦ ASPECT (画面サイズ切り換え) ボタン (15ページ)**

画面のアスペクトを切り換えるときに使います。  
 押すたびに以下のように切り換ります。



**⑧ OP. (オプション) ボタン**

セットアップメニューを表示するときに使います。

# 付属品を確かめる

本機には次の付属品が梱包されています。付属品をご確認ください。

万一、不足しているものがございましたら、お手数でもお買い上げの販売店にご連絡ください。

|                           |   |
|---------------------------|---|
| リモコン (RM-C583) .....      | 1 |
| 単3電池 (リモコン用) .....        | 2 |
| 電源コード .....               | 1 |
| 変換アダプター (3極→2極) .....     | 1 |
| 映像入力ケーブル .....            | 1 |
| ねじ (M5×16、システムラック用) ..... | 6 |
| ケーブルクランプ .....            | 2 |

## お知らせ

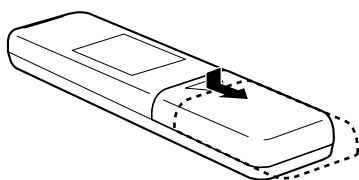
- 本機には付属品の他に、取扱説明書（本書）や保証書、サービス窓口案内が添付されています。ご確認ください。

## 電池の入れかた

リモコンに乾電池を入れてください。また、リモコンが正常に働かなくなったら、乾電池を交換してください。

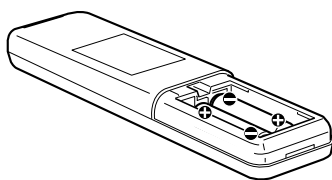
### 1 裏ぶたを開けます。

つまみを押しながら矢印の方向に開けます。



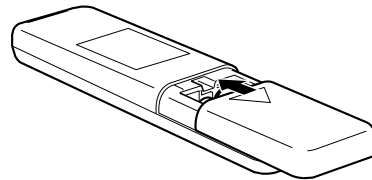
### 2 乾電池を入れます。

付属の乾電池（単3形）2本を＋、－の表示どおり入れます。



### 3 裏ぶたを閉めます。

裏ぶたを「カチッ」という音がするまで閉めます。



## 乾電池の使いかたに注意

### お願い

電池は間違った使いかたをすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

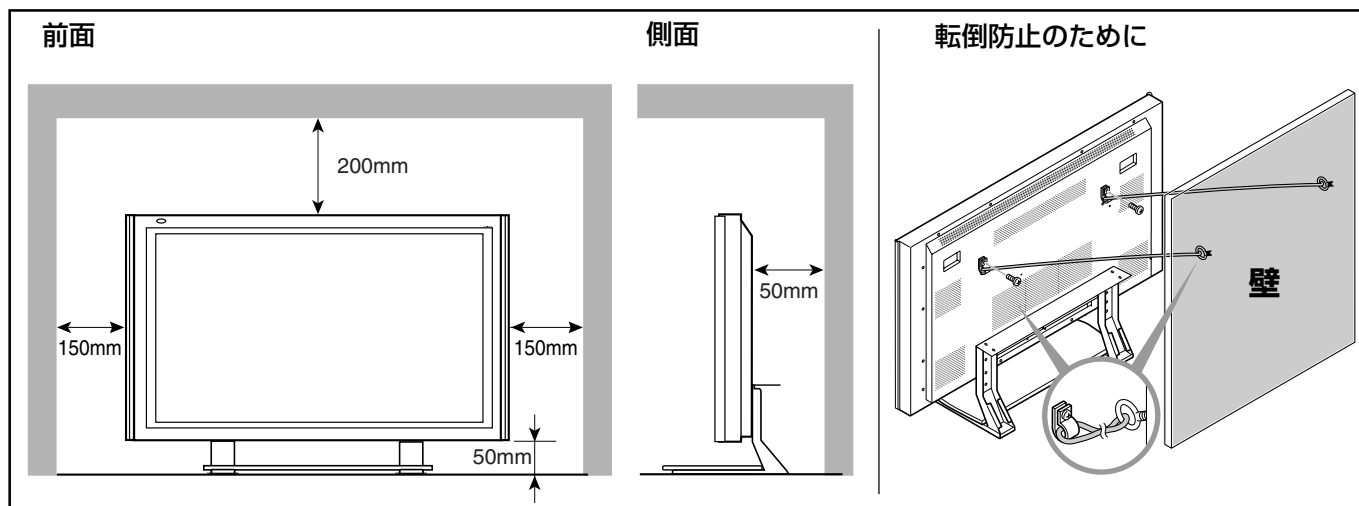
- ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- ・ 乾電池は種類によって特性が異なりますので種類の違う電池は混ぜて使わない。
- ・ 電池ケースのプラス（＋）とマイナス（－）の表示どおりに入れる。
- ・ 乾電池を入れるときは、ショートを防ぐため、必ず電池のマイナス（－）側を先に入れる。
- ・ 指定された電池以外は使わない。
- ・ 長期間使用しないときには、乾電池を取り出しておく。
- ・ 乾電池が消耗して使えなくなったときは、すぐに取り出して交換してください。液漏れの原因になったり、液漏れによって故障の原因となることがあります。また、漏れた液が肌に触れるなどしたときは、布で拭き取ります。そのままにしておくと、肌が荒れる原因となることがあります。
- ・ 乾電池を火の中へ入れたり、充電したりしない。
- ・ 電池は普通の使いかたで、約6か月から1年間使えますが、付属の電池は動作確認用ですので短くなることがあります。操作しにくくなったなら、新しい乾電池に交換してください。

# 設置する

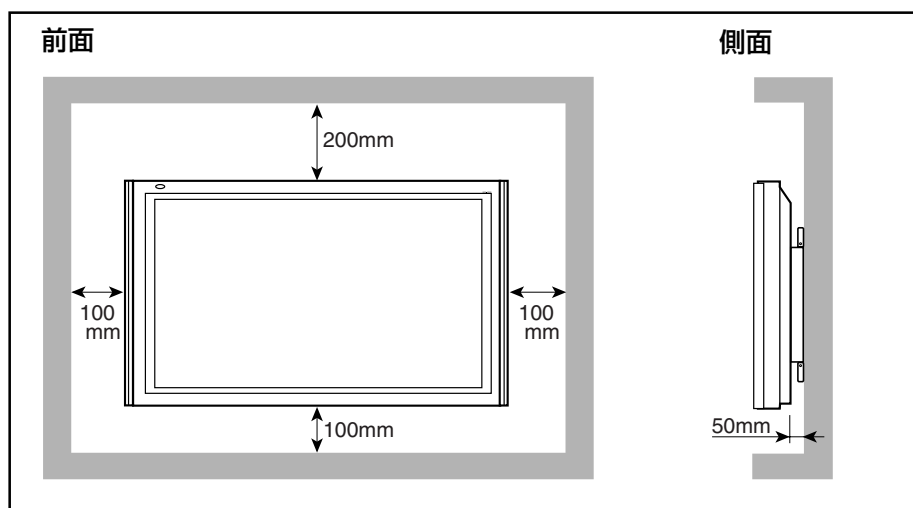
## 設置するときの注意

- プラズマディスプレイモニターを据え付けるときは、
  - － 縦型での設置および左右、背面方向へ傾けての設置はしないでください。
  - － 専用のスタンド、壁掛け金具、天吊り金具などを必ず使用してください。据え付けは、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。
  - － 各オプションの取付説明書をご覧ください。
- 電源コード、接続ケーブルは引っかからないように、壁、床などの隅に配線してください。
- 放熱をよくするため、周囲には下図の空間距離(最低距離)を保つようにしてください。
- 設置場所によっては(天井の近くなど)、周囲の影響を受け、正しくリモコン操作ができないことがあります。このようなときは、影響の出ない場所に移動してください。
- 据え付け場所の周囲温度は、0℃～40℃の範囲で使用してください(設置環境により多少異なります)。

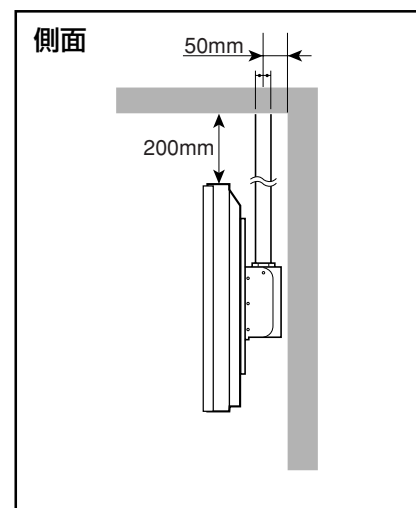
## スタンドに設置するとき



## 壁に掛けるとき



## 天井から吊るすとき



## お知らせ

- 長時間、連続して同一画像(パターン)を表示しないでください。長時間同一画像を表示したときはその部分の輝度が変化し、画面の一部に残像として見えることがあります。  
残像を軽減するには、ピクセルシフト機能(21ページ)やカラーリバース機能、リフレッシュ機能(22ページ)を利用すると効果的です。
- プラズマディスプレイモニターは、非常に精密度の高い技術でつくられていて、99.99%以上の有効画素がありますが、ほんのわずかの画素欠けや常時点灯するものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 他のAV機器と相互に悪影響を与える設置はしないでください。  
(例えば、電磁波妨害などによる映像の乱れ、雑音や、赤外線リモコンの誤動作などが発生したときは設置場所を変えてください。)

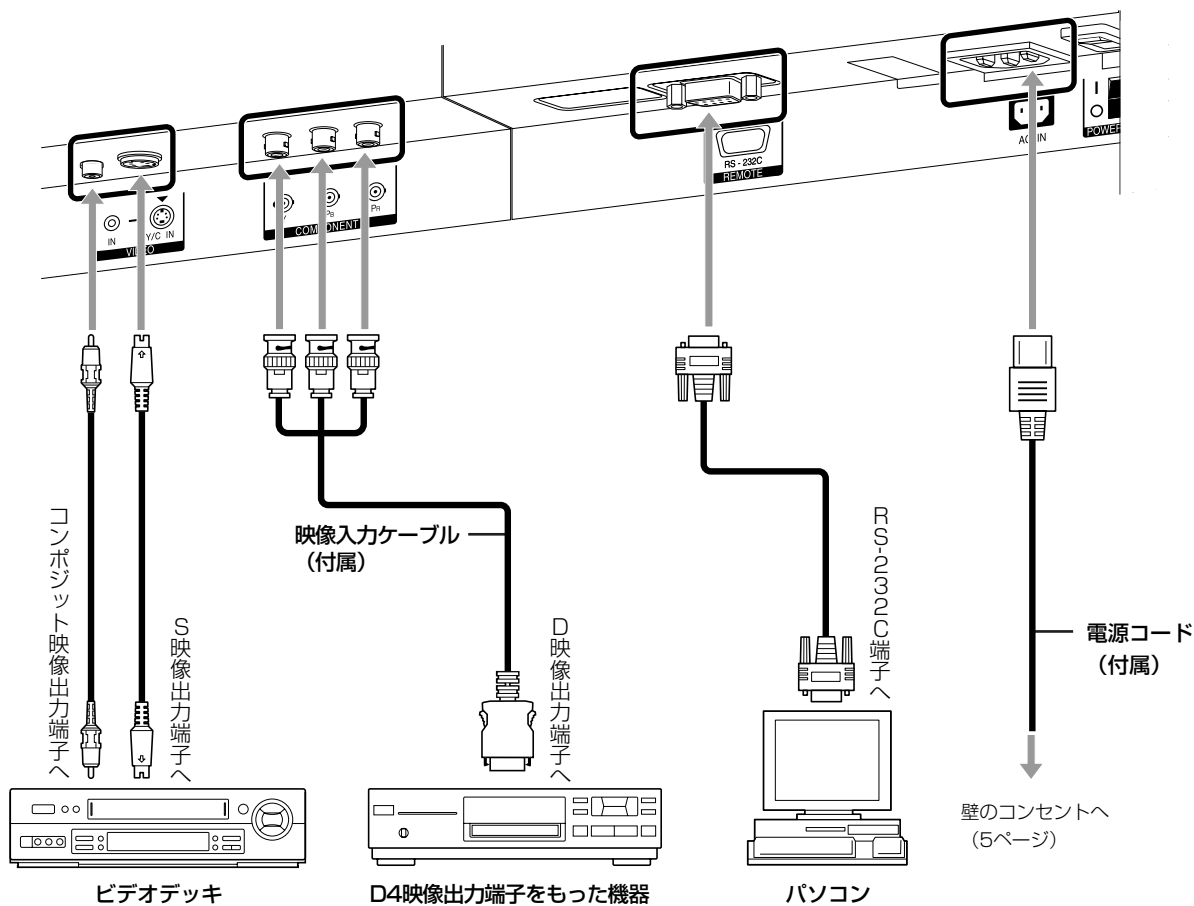
# 接続する

## 接続例

### 接続時のご注意

- 各機器の電源を切ってから接続を行なってください。
- 接続ケーブルはそれぞれの端子の形状に合った正しいものをお選びください。
- プラグはしっかり差し込んでください。接続が悪いと映像の乱れや雑音の原因となります。
- コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードは他のすべての接続が終わってからつないでください。
- 各機器の取扱説明書もご覧ください。

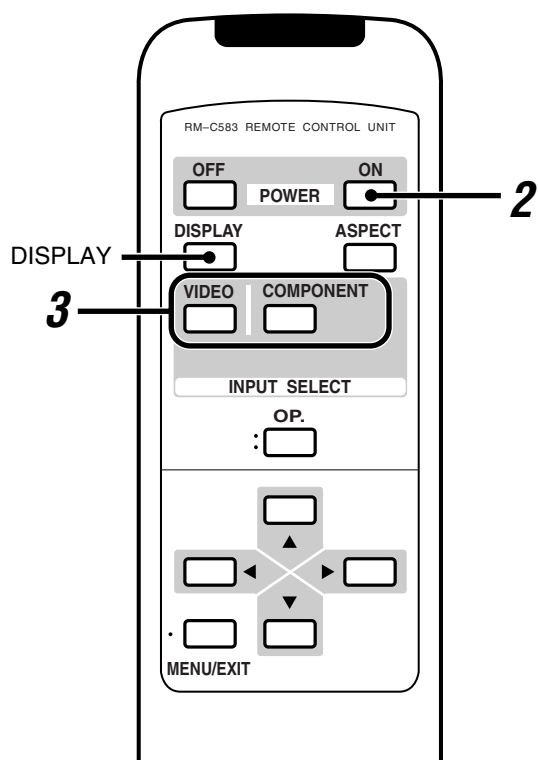
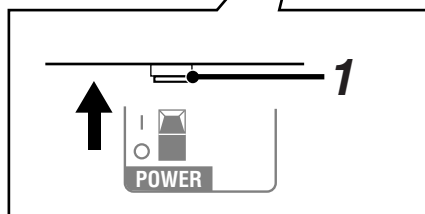
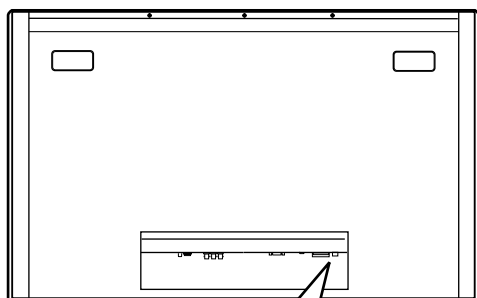
### 本体背面



準備

# 基本の操作

本体背面



## 1 主電源を入れる。

本体背面の POWER スイッチを「I (ON)」にします。  
本体前面左上の電源ランプがオレンジ色に点灯します。  
\* 前回本機の電源が「入」のときに背面の POWER スイッチを「O (OFF)」にした場合は、電源ランプが緑色に点灯し本機の電源が「入」になります。

## 2 電源を入れる。

リモコンの POWER ON ボタンを押して電源を入れます。  
電源ランプがオレンジ色から緑色に変わります。

## 3 入力を選ぶ。

INPUT SELECT ボタンを押して入力を選びます。

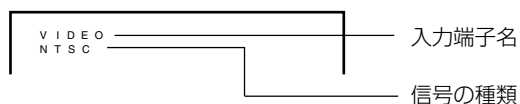
**VIDEO (コンボジット/Sビデオ) 入力:**

VIDEO ボタンを押します。

**COMPONENT 入力:**

COMPONENT ボタンを押します。

画面表示



**画面表示を出すには**

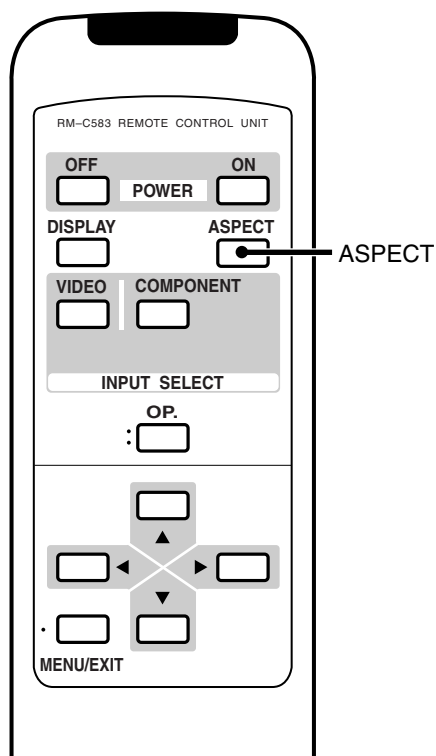
DISPLAY ボタンを押します。

入力端子名と信号の種類が表示されます。

表示は約3秒後に消えます。

● メニューの「STATUS DISPLAY」でも画面表示を出せます。  
(19ページ)

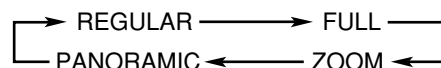
# 画面サイズの切り換え



本機は通常の横縦比4：3の画面（REGULAR）の他3種類のワイド画面（FULL、ZOOM、PANORAMIC）を選べます。映像信号に合ったアスペクト（画面の横縦比）を選んでお楽しみください。

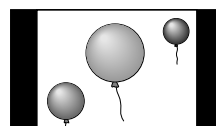
## ASPECTボタンを押す。

ASPECTボタンを押すたびに、画面サイズが次のように切り換ります。



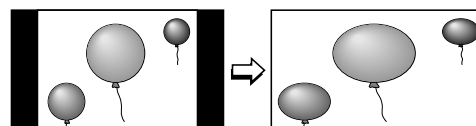
### REGULAR（レギュラー）

通常のアスペクト4：3の映像です。



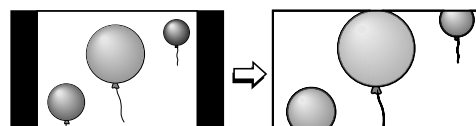
### FULL（フル）

レギュラーサイズの映像を全体的に横に拡大します。



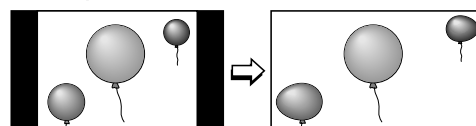
### ZOOM（ズーム）

レギュラーサイズの映像を縦、横同じ比率で拡大します。



### PANORAMIC（パノラミック）

レギュラーサイズの映像を不自然に見えないように拡大します。



- メニューの「FUNCTION SELECT」でもアスペクトを切り換えられます。（18ページ）

## お願い

### 画面サイズのご利用について

ワイド画像でない従来（通常）の4：3の映像を「FULL」、「ZOOM」、「PANORAMIC」サイズでご覧になると、周辺画像の一部が見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、「REGULAR」サイズでご覧になれます。

### 映像の見え方について

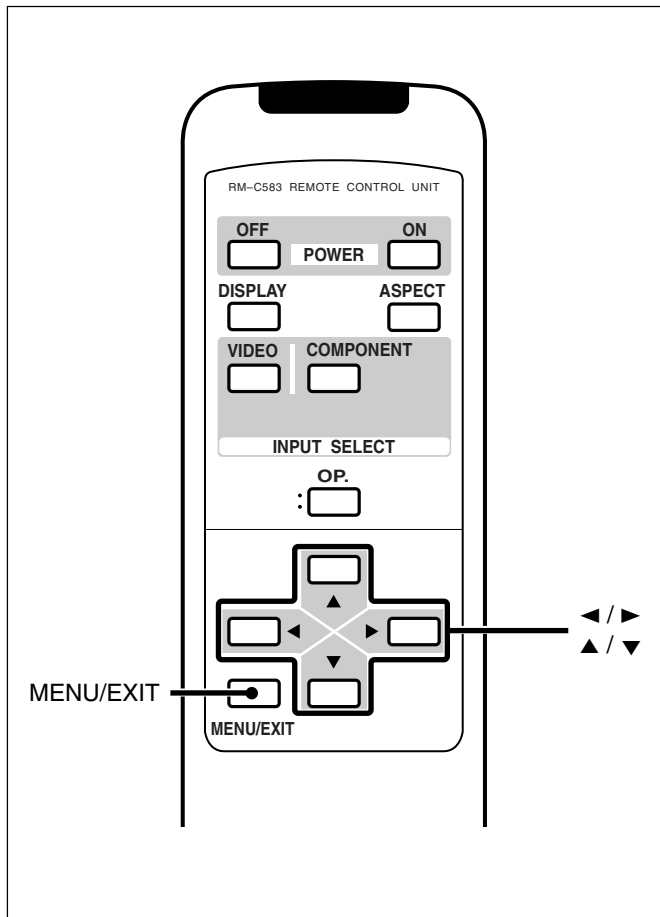
このプラズマディスプレイモニターは各種の画面サイズ選択機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。

### 著作権の侵害について

プラズマディスプレイモニターを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズの選択機能（PANORAMIC）等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

### 「REGULAR」サイズでのご使用について

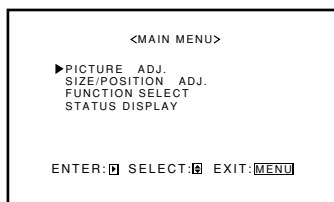
長時間「REGULAR」サイズの状態にし、非常に明るい映像でご覧になっていると、焼き付きが発生することがあります。通常は、焼き付きはおきませんが、もし、焼き付きがおこったときはワイドサイズの映像でしばらくご覧になると焼き付きの症状を少しでも軽減することができます。



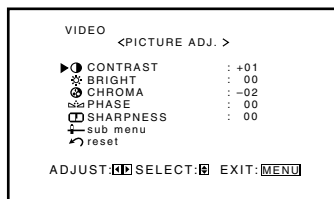
## 画質を調節する

入力ごとに設定できます。

### 1 MENU/EXITボタンを押してメインメニューを表示させる。



### 2 カーソル<上/>下/>ボタンを押して「PICTURE ADJ.」を選び、カーソル<右/>ボタンを押して決定する。



### 3 カーソル<上/>下/>ボタンを押して調節したい項目を選ぶ。

### 4 カーソル<左/>右/>ボタンを押して調節する。

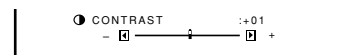
| 項目                | 調節の範囲                          | 標準 (リセット) |
|-------------------|--------------------------------|-----------|
| CONTRAST (コントラスト) | -20~+20                        | 00        |
| BRIGHT (明るさ)      | -20~+20                        | 00        |
| CHROMA (色のこさ)     | -20~+20                        | 00        |
| PHASE (色あい)       | -20~+20                        | 00        |
| SHARPNESS (りんかく)  | -10~+10                        | 00        |
| sub menu (サブメニュー) | 下記の「調節バーを見ながら調節するには」をご覧ください。   |           |
| reset (リセット)      | 下記の「画質をお買い上げ時の設定に戻すには」をご覧ください。 |           |

### 5 MENU/EXITボタンを2回押してメニューを消す。

#### 調節バーを見ながら調節するには

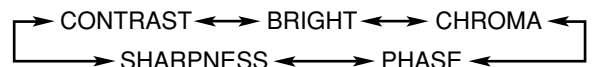
上記の手順2のあとで次の操作を行ってください。

- カーソル<上/>下/>ボタンを押して「sub menu」を選び、カーソル<右/>ボタンを押して決定する。  
「CONTRAST」の調節バーが表示されます。



- カーソル<上/>下/>ボタンを押して調節したい項目の調節バーを表示させます。

カーソル<上/>下/>ボタンを押すたびに次のように変わります。

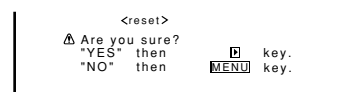


- カーソル<左/>右/>ボタンを押して調節する。  
続けて他の項目を調節するときは、手順2と手順3の操作をくり返します。
- MENU/EXITボタンを3回押してメニューを消す。

#### 画質をお買い上げ時の設定に戻すには

「PICTURE ADJ.」の全ての調節項目がリセットされますので、1つ1つの項目を選んでリセットすることはできません。上記の手順2のあとで次の操作を行ってください。

- カーソル<上/>下/>ボタンを押して「reset」を選び、カーソル<右/>ボタンを押して決定する。  
確認の画面が表示されます。



- カーソル<右/>ボタンを押す。  
「PICTURE ADJ.」に含まれる全ての調節項目がリセットされます。リセットを中止するには、MENU/EXIT ボタンを押します。

## 画面の大きさ／位置を調節する

画面の位置や大きさを調節できます。

信号ごとに記憶でき、同じ信号を入力したときは自動的に前回の調節値になります。

### ワンポイントアドバイス

「SIZE」（大きさ）と「POSITION」（位置）を交互に調節します。

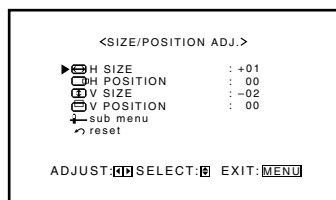
### ご注意

「SIZE」は左右（または上下）均等に变化せず、右（または下）方向にのみ変化します。

## 1 MENU/EXITボタンを押してメインメニューを表示させる。



## 2 カーソル▲／▼ボタンを押して「SIZE/POSITION ADJ.」を選び、カーソル▶ボタンを押して決定する。



## 3 カーソル▲／▼ボタンを押して調節したい項目を選ぶ。

## 4 カーソル◀／▶ボタンを押して調節する。

| 項目                      | 調節の範囲                                 |
|-------------------------|---------------------------------------|
| H SIZE<br>(画面の横幅)       | -40~+40                               |
| H POSITION<br>(画面の左右位置) | マイコンが調節範囲を自動的に変更します。                  |
| V SIZE<br>(画面の縦幅)       | -40~+40                               |
| V POSITION<br>(画面の上下位置) | マイコンが調節範囲を自動的に変更します。                  |
| sub menu<br>(サブメニュー)    | 右記の「調節バーを見ながら調節するには」をご覧ください。          |
| reset<br>(リセット)         | 右記の「画面の大きさ／位置をお買い上げ時の設定に戻すには」をご覧ください。 |



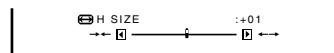
- 画面の「SIZE」と「POSITION」の調節値は関連しており、一方の調節値が大きいと、他方の最大調節値が制限されることがあります。
- 「SIZE」または「POSITION」を変えた瞬間に映像が乱れることがありますが、故障ではありません。

## 5 MENU/EXITボタンを2回押してメニューを消す。

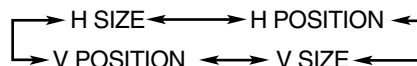
### 調節バーを見ながら調節するには

左記の手順2のあとで次の操作を行ってください。

- 1 カーソル▲／▼ボタンを押して「sub menu」を選び、カーソル▶ボタンを押して決定する。  
「H SIZE」の調節バーが表示されます。



- 2 カーソル▲／▼ボタンを押して調節したい項目の調節バーを表示させます。  
カーソル▲／▼ボタンを押すたびに次のように変わります。



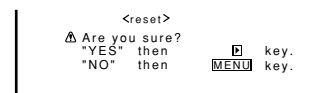
- 3 カーソル◀／▶ボタンを押して調節する。  
続けて他の項目を調節するときは、カーソル▲／▼ボタンを押し、カーソル◀／▶ボタンで調節します。
- 4 MENU/EXITボタンを3回押してメニューを消す。

### 画面の大きさ／位置をお買い上げ時の設定に戻すには

「SIZE/POSITION ADJ.」の全ての調節項目がリセットされますので、1つ1つの項目を選んでリセットすることはできません。

左記の手順2のあとで次の操作を行ってください。

- 1 カーソル▲／▼ボタンを押して「reset」を選び、カーソル▶ボタンを押して決定する。  
確認の画面が表示されます。

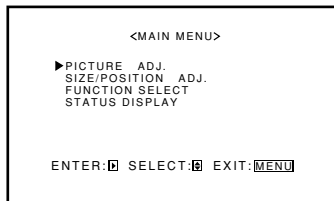


- 2 カーソル▶ボタンを押す。  
「SIZE/POSITION ADJ.」に含まれる全ての調節項目がリセットされます。  
リセットを中止するには、MENU/EXITボタンを押します。

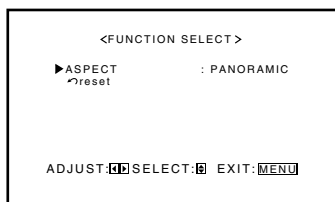
## アスペクトを切り換える（画面サイズ）

入力ごとに設定できます。

### 1 MENU/EXITボタンを押してメインメニューを表示させる。



### 2 カーソル▲／▼ボタンを押して「FUNCTION SELECT」を選び、カーソル▶ボタンを押して決定する。



### 3 カーソル▲／▼ボタンを押して「ASPECT」を選ぶ。

### 4 カーソル◀／▶ボタンを押して画面サイズを選ぶ。

カーソル◀／▶ボタンを押すたびに、画面サイズは次のように切り換ります。



カーソル▶ボタンのかわりに ASPECT ボタンも使えます。

### 5 MENU/EXITボタンを2回押してメニューを消す。



- 画面サイズ「REGULAR」、「FULL」、「ZOOM」、「PANORAMIC」についての詳しい説明は15ページをご覧ください。

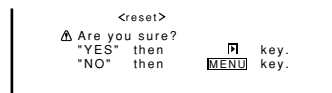
### 変更した項目をリセットするには

「FUNCTION SELECT」のASPECT設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

左記の手順2のあとで次の操作を行ってください。

#### 1 カーソル▲／▼ボタンを押して「reset」を選び、カーソル▶ボタンを押して決定する。

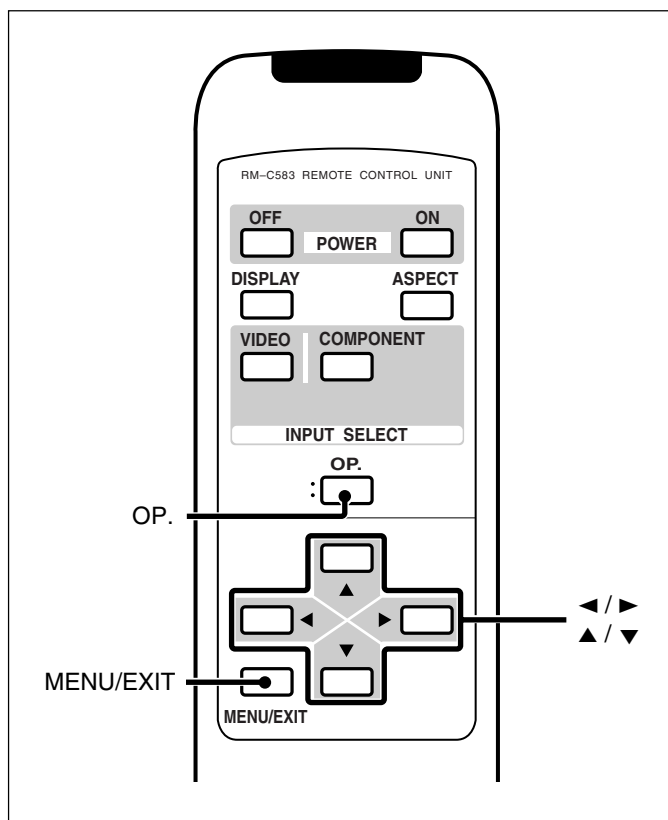
確認の画面が表示されます。



#### 2 カーソル▶ボタンを押す。

ASPECT 設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

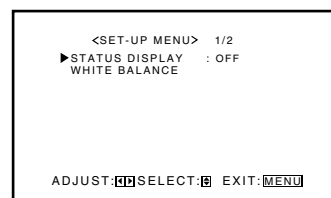
リセットを中止するには、MENU/EXIT ボタンを押します。



## 入力切り換え時に画面表示を出す

入力切り換え時に入力端子名と信号の種類を表示するかどうかを設定します。

- 1 MENU/EXITボタンを押したままOP.ボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。



- 2 カーソル▲／▼ボタンを押して「STATUS DISPLAY」を選ぶ。
- 3 カーソル◀／▶ボタンで「ON」を選ぶ。

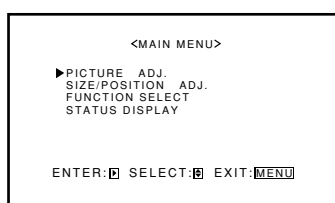
カーソル◀／▶ボタンを押すたびに「ON」と「OFF」が切り換ります。入力切り換え時に表示を出す必要のないときは「OFF」を選びます。

- 4 MENU/EXITボタンを押してメニューを消す。

## 画面表示を出す

入力端子名と信号の種類を表示します。

- 1 MENU/EXITボタンを押してメインメニューを表示させる。



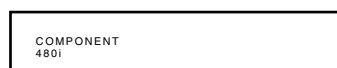
- 2 カーソル▲／▼ボタンを押して「STATUS DISPLAY」を選び、カーソル▶ボタンを押して決定する。

画面に映っている映像の入力端子名と信号の種類が表示されます。

### VIDEO入力するとき



### COMPONENT入力するとき

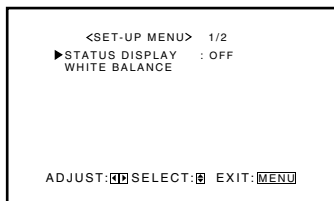


- DISPLAYボタンを押しても画面表示を出せます。

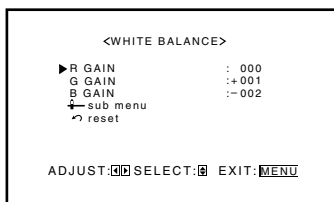
## ホワイトバランスを調節する

R GAIN、G GAIN、B GAINを細かく調節することができます。  
入力ごとに調節できます。

- 1 MENU/EXITボタンを押したまま  
OP.ボタンを押して、セットアップメ  
ニューを表示させる。



- 2 カーソル▲／▼ボタンを押して「WHITE  
BALANCE」を選び、カーソル▶ボタン  
を押して決定する。



- 3 カーソル▲／▼ボタンを押して調節したい  
項目を選ぶ。

- 4 カーソル◀／▶ボタンを押して調節する。

他の項目も調節するときは手順3と手順4をくり返します。

- 5 MENU/EXITボタンを2回押してメ  
ニューを消す。

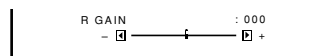


- 調節できる範囲は、個々のプラズマディスプレイモニターによっ  
て異なります。  
すぐにMAX表示になることがありますが、故障ではありません。

## 調節バーを見ながら調節するには

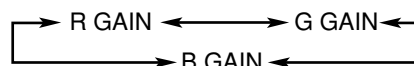
左記の手順2のあとで次の操作を行なってください。

- 1 カーソル▲／▼ボタンを押して「sub menu」を選  
び、カーソル▶ボタンを押して決定する。  
「R GAIN」の調節バーが表示されます。



- 2 カーソル▲／▼ボタンを押して調節したい項目の調  
節バーを表示させる。

カーソル▲／▼ボタンを押すたびに次のように切り換ります。

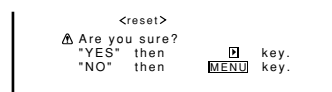


- 3 カーソル◀／▶ボタンを押して調節する。  
続けて他の項目を調節するときは、手順2と手順3の操作をくり  
返します。
- 4 MENU/EXITボタンを3回押してメニューを消す。

## ホワイトバランスをお買い上げ時の設定に戻すには

R GAIN、G GAIN、B GAINの全てがリセットされますの  
で、1つ1つの項目を選んでリセットすることはできません。  
左記の手順2のあとで次の操作を行なってください。

- 1 カーソル▲／▼ボタンを押して「reset」を選び、  
カーソル▶ボタンを押して決定する。  
確認の画面が表示されます。

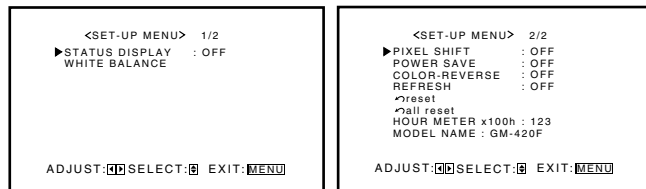


- 2 カーソル▶ボタンを押す。  
ホワイトバランスがリセットされます。  
リセットを中止するには、MENU/EXITボタンを押します。

## 省電力設定にする

本機には省電力設定としてパワーセーブ機能があります。  
「POWER SAVE」を「SAVE1」、または「SAVE2」に設定すると、明るさを抑えて省電力になります。

### 1 MENU/EXITボタンを押したまま OP.ボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。



<SET-UP MENU> 1/2(1ページ目) <SET-UP MENU> 2/2(2ページ目)  
\*セットアップメニューは2ページあります。

### 2 カーソル▲／▼ボタンを押して2ページ目の「POWER SAVE」を選ぶ。

### 3 カーソル◀／▶ボタンを押して「SAVE1」、 「SAVE2」または「OFF」を選ぶ。

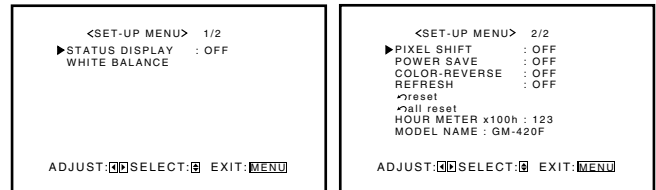
カーソル◀／▶ボタンを押すたびに、「SAVE1」、「SAVE2」、  
「OFF」が切り換ります。  
「SAVE1」：明るさを抑えて、省電力にします。  
「SAVE2」：より明るさを抑え、省電力にします。  
「OFF」：パワーセーブ機能を解除します。通常の明る  
さで表示します。

### 4 MENU/EXITボタンを押してメニューを 消す。

## 画面の焼き付きを軽減する

画面の焼き付きを防ぐ（軽減する）ために、静止画を長時間映す  
ときには、表示画面を一定時間間隔で上下左右に移動させます。

### 1 MENU/EXITボタンを押したまま OP.ボタンを押して、セットアップメ ニューを表示させる。



<SET-UP MENU> 1/2(1ページ目) <SET-UP MENU> 2/2(2ページ目)  
\*セットアップメニューは2ページあります。

### 2 カーソル▲／▼ボタンを押して2ページ目 の「PIXEL SHIFT」を選ぶ。

### 3 カーソル◀／▶ボタンで「ON」を選ぶ。

カーソル◀／▶ボタンを押すたびに「ON」と「OFF」が切り  
換ります。  
ピクセルシフトを解除するときは「OFF」を選びます。

### 4 MENU/EXITボタンを押してメニューを 消す。

## 焼き付きなどの残像現象を軽減する

本機には、焼き付きなどの残像現象がおこったときに、その残像を軽減する2つの機能、カラーリバーズ（「COLOR-REVERSE」）とリフレッシュ（「REFRESH」）があります。カラーリバーズ機能は長時間の静止画表示などで焼き付きがおこったときに、リフレッシュ機能は、電源を切ったときにパネルに画像が残っているときに使います。

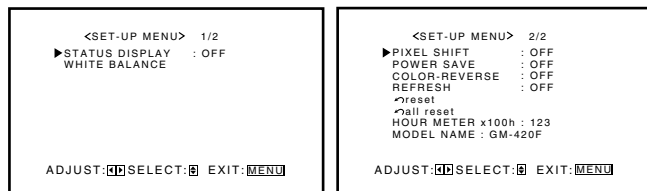


- リフレッシュ機能やカラーリバーズ機能を使っても、残像が解消されるまでには時間がかかります。30分から1時間おきに、リフレッシュ機能やカラーリバーズ機能を一時解除し、残像が消えているか確認してください。解消されていれば、そのままリフレッシュ機能やカラーリバーズ機能を終了してください。

### ■カラーリバーズ機能の設定（「COLOR-REVERSE」）

- 焼き付きをおこした静止画を表示させてから行います。

#### 1 MENU/EXITボタンを押したままOP.ボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。



<SET-UP MENU> 1/2(1ページ目) <SET-UP MENU> 2/2(2ページ目)  
\*セットアップメニューは2ページあります。

#### 2 カーソル▲／▼ボタンを押して2ページ目の「COLOR-REVERSE」を選ぶ。

#### 3 カーソル◀／▶ボタンで「ON」を選ぶ。

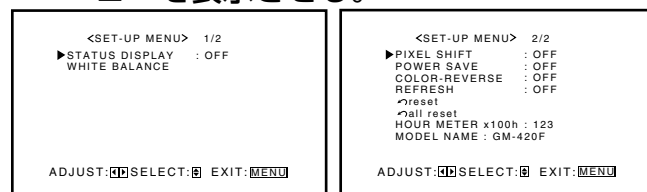
カーソル◀／▶ボタンを押すたびに「ON」と「OFF」が切り換ります。

カラーリバーズを解除するときは「OFF」を選びます。

#### 4 MENU/EXITボタンを押してメニューを消す。

### ■リフレッシュ機能の設定（「REFRESH」）

#### 1 MENU/EXITボタンを押したままOP.ボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。



<SET-UP MENU> 1/2(1ページ目) <SET-UP MENU> 2/2(2ページ目)  
\*セットアップメニューは2ページあります。

#### 2 カーソル▲／▼ボタンを押して2ページ目の「REFRESH」を選ぶ。

#### 3 カーソル◀／▶ボタンで「ON」を選ぶ。

カーソル◀／▶ボタンを押すたびに「ON」と「OFF」が切り換ります。

リフレッシュを解除するときは「OFF」を選びます。

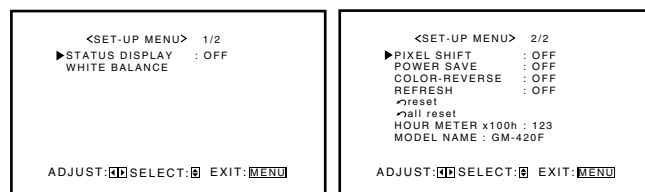
#### 4 MENU/EXITボタンを押してメニューを消す。

## 変更した設定をリセットする

セットアップメニューの各項目で変更した設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

- ホワイトバランスはリセットされません。ホワイトバランスをリセットするには、20ページの「ホワイトバランスをお買い上げ時の設定に戻すには」をご覧ください。

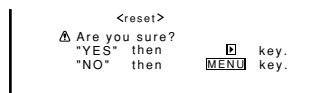
#### 1 MENU/EXITボタンを押したままOP.ボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。



<SET-UP MENU> 1/2(1ページ目) <SET-UP MENU> 2/2(2ページ目)  
\*セットアップメニューは2ページあります。

#### 2 カーソル▲／▼ボタンを押して2ページ目の「reset」を選び、カーソル▶ボタンを押して決定する。

確認の画面が表示されます。



#### 3 カーソル▶ボタンを押してリセットする。

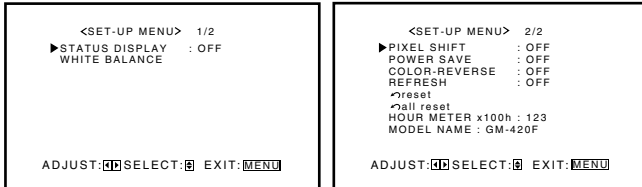
変更したセットアップメニューの内容が、お買い上げ時の設定に戻ります。

リセットを中止するには、MENU/EXITボタンを押します。

## 変更した設定を全てリセットする

メインメニューやセットアップメニューの各項目で変更した設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

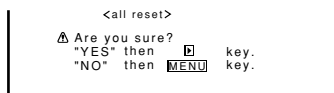
- 1 MENU/EXITボタンを押したまま  
OP.ボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。



<SET-UP MENU> 1/2(1ページ目) <SET-UP MENU> 2/2(2ページ目)  
\*セットアップメニューは2ページあります。

- 2 カーソル▲／▼ボタンを押して2ページ目の「all reset」を選び、カーソル▶ボタンを押して決定する。

確認の画面が表示されます。



- 3 カーソル▶ボタンを押してリセットする。

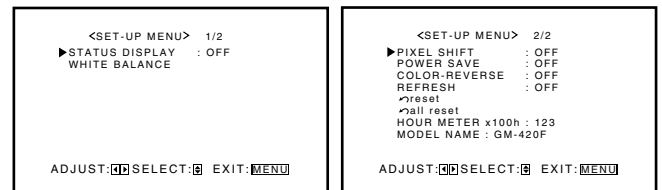
変更した全ての内容が、お買い上げ時の設定に戻ります。  
リセットを中止するには、MENU/EXITボタンを押します。

- 4 一旦電源が切れ、自動的に電源が入ります。

## 合計使用時間と機種名を確認する

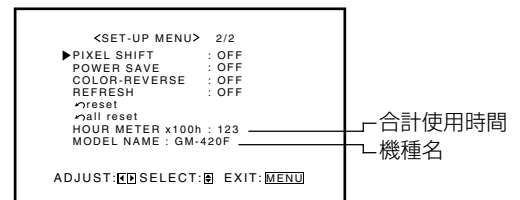
セットアップメニューで、お使いのプラズマディスプレイモニターの合計使用時間と機種名を確認できます。  
プラズマディスプレイモニターの保守の際に確認します。

- 1 MENU/EXITボタンを押したまま  
OP.ボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。



<SET-UP MENU> 1/2(1ページ目) <SET-UP MENU> 2/2(2ページ目)  
\*セットアップメニューは2ページあります。

- 2 カーソル▲／▼ボタンを押して2ページ目を表示させ、合計使用時間と機種名を確認する。



- 表示される数値は、合計使用時間を100で割ったものです。  
実際の使用時間は表示された数値の100倍です。

- 3 MENU/EXITボタンを押してメニューを消す。



- 合計使用時間は1時間単位で加算されていきますので、使用時間が1時間以内であったときは、合計使用時間には加算されません。
- スタンバイ（電源ランプがオレンジ色に点灯）時は、合計使用時間には加算されません。

# 故障かな？と思ったら

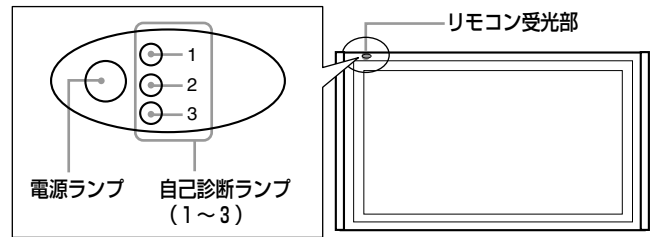
修理をご依頼される前に、次の点をお調べください。

| 症 状               | 原 因                                   | 処 置                                                          | 参照ページ |
|-------------------|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------|-------|
| 電源が入らない           | ・ 電源コードが外れていませんか。                     | ・ 電源コード（プラグ）をしっかりと差し込んでください。                                 | 13ページ |
|                   | ・ 主電源スイッチを入れましたか。                     | ・ 本体背面のPOWERスイッチを入れてください。                                    | 14ページ |
| 映像が出ない            | ・ 入力を正しく選んでいますか。                      | ・ INPUT SELECT ボタンで正しい入力を選んでください。                            | 14ページ |
|                   | ・ 接続機器を正しく接続していますか。                   | ・ 接続機器を正しく接続してください。                                          | 13ページ |
|                   | ・ 接続機器から信号が出ていますか。                    | ・ 接続機器を正しく設定してください。                                          | —     |
|                   | ・ 明るさが正しく調節されていますか。                   | ・ メニューで「BRIGHT」を調節してください。                                    | 16ページ |
|                   | ・ 自己診断ランプが点灯（点滅）していませんか。              | ・ 「自己診断表示」にしたがって確認してください。                                    | 25ページ |
| 映像が異常に<br>暗い・明るい  | ・ 明るさが正しく調節されていますか。                   | ・ メニューで「BRIGHT」を調節してください。                                    | 16ページ |
|                   | ・ 画質（色のこさなど）は正しく調節されていますか。            | ・ メニューで画質を調節してください。                                          | 16ページ |
|                   | ・ 画面右下に「TEMP. OVER」の表示が点灯（点滅）していませんか。 | ・ 「自己診断表示」にしたがって確認してください。                                    | 25ページ |
| 映像が切れる・<br>片寄っている | ・ 画面の大きさや位置の調節は正しいですか。                | ・ メニューで「H SIZE」、「H POSITION」、「V SIZE」、「V POSITION」を調節してください。 | 17ページ |
| リモコンが働<br>かない     | ・ 乾電池が正しく入っていますか。                     | ・ 乾電池の極性（＋、－）を正しく合わせて入れてください。                                | 11ページ |
|                   | ・ 乾電池が消耗していませんか。                      | ・ 新しい乾電池に交換してください。                                           | 11ページ |
|                   | ・ リモコンとリモコン受光部との間に遮へい物はありませんか。        | ・ 遮へい物を取り除いてください。                                            | —     |
|                   | ・ 距離が離れすぎていませんか。                      | ・ 近づいて送信してください。                                              | —     |

## 自己診断表示

本機には自己診断機能がついています。

本機に異常が起きたときに、ランプで本機の状態をお知らせし、より迅速にサービス対応させていただくための機能です。



### 画面が消え、電源ランプの横の自己診断ランプが点灯／点滅したら

自己診断ランプが赤く点灯／点滅したら、下記の＜手順＞にしたがって、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

#### ● 自己診断表示のランプが次のような表示のとき

ランプ1：点滅    ランプ2：点灯    ランプ3：点滅

背面の通気孔にホコリが付着していることが考えられます。

本体背面のPOWERスイッチを「○（OFF）」にして、電源コードを抜いてください。

お手入れのしかた（7ページ）にしたがって掃除をしてください。

掃除をして主電源を入れ直しても自己診断表示が消えないときは、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

### 画面が少し暗くなり、「TEMP. OVER」の表示が点灯（点滅）したら

設置環境の悪さやホコリの影響で本機の内部温度が上昇すると、本機は画面を暗くして電力消費を下げ、内部温度の上昇を抑制します。このとき「TEMP.OVER」が表示されます。内部温度上昇の原因がなくなると、表示は消えて、画面はもとの明るさに戻ります。

「TEMP.OVER」の表示が点灯／点滅したら、下記の＜手順＞にしたがって、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

#### ● 画面右下に「TEMP. OVER」の表示が黄色く点滅しているとき

背面の通気孔にホコリが付着していることが考えられます。

本体背面のPOWERスイッチを「○（OFF）」にして、電源コードを抜いてください。

お手入れのしかた（7ページ）にしたがって掃除をしてください。

掃除をして主電源を入れ直しても「TEMP. OVER」表示が消えないときは、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

背面の通気孔にホコリが付着していないで、表示がでているときは、設置環境の悪さが影響していると考えられます。

お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談の上、設置環境を改善してください。

#### ● 画面右下に「TEMP. OVER」の表示が赤く点灯しているとき

2分間「TEMP. OVER」の表示をします。

その後、自動的に本機の電源が切れ（スタンバイ状態）、自己診断ランプが赤く点灯します。

本体背面のPOWERスイッチを「○（OFF）」にして、電源コードを抜いてください。

お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

### ＜手順＞

#### 1 どのランプが点灯／点滅しているか確認する。

下の「プラズマディスプレイモニター自己診断報告書」の「点灯」または「点滅」に○を付けてください。

点灯か点滅のいずれかになります。1つだけ点滅する場合も、3つとも点滅する場合もあります。

#### 2 本体背面のPOWERスイッチを「○（OFF）」にする。

#### 3 電源コードを抜く。

#### 4 お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口に点灯／点滅しているランプの位置および「TEMP.OVER」表示を知らせる。

下記の報告書をコピーし、ファックス用紙としてご利用ください。

お買い上げ販売店



- 主電源を切つてすぐにもう一度主電源を入れると、自己診断ランプが点灯（または点滅）し、映像が出ないことがあります。（瞬間的な停電も含みます。）このようなときは、一度主電源を切り、10秒以上たってから再び主電源を入れてください。自己診断ランプが点灯（または点滅）しなければ、そのままご使用ください。

御中

## プラズマディスプレイモニター自己診断報告書

ビクタープラズマディスプレイモニターGM-420Fの自己診断ランプが下記のように点灯（点滅）しました。サービスの対応をお願いいたします。

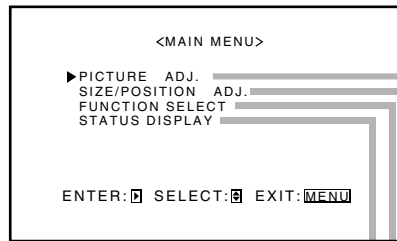
| 自己診断ランプの状態 |       |    |    |
|------------|-------|----|----|
|            | ランプ位置 | 状態 |    |
| 1          | 上     | 点灯 | 点滅 |
| 2          | 中     | 点灯 | 点滅 |
| 3          | 下     | 点灯 | 点滅 |
| TEMP. OVER |       | 点灯 | 点滅 |

|      |                         |
|------|-------------------------|
| お名前  |                         |
| 電話番号 |                         |
| ご住所  |                         |
| 型名   | GM-420F（プラズマディスプレイモニター） |

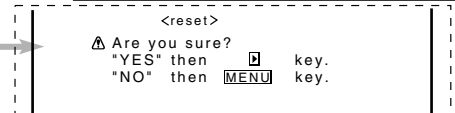
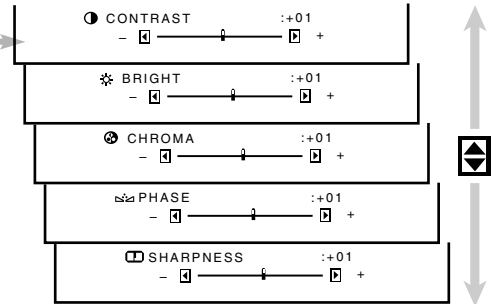
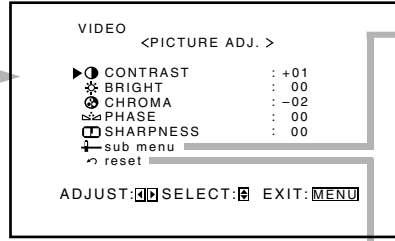
# メニューの構成

## メインメニュー一覧

### メインメニュー

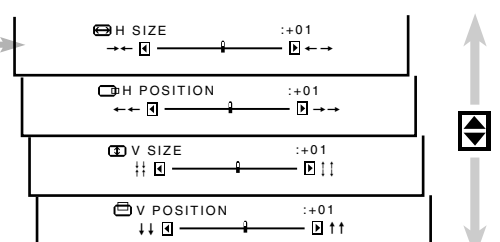
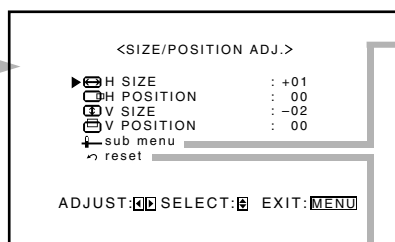


### 画質調節画面



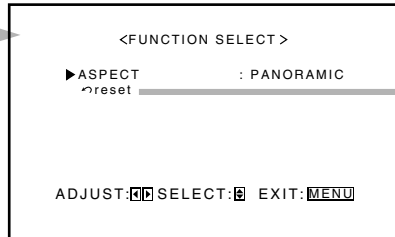
### リセット確認画面

### サイズ/ポジション 調節画面



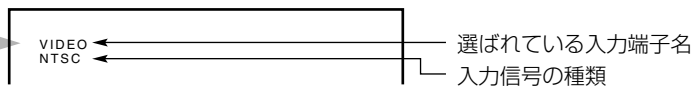
### リセット確認画面へ

### 機能調節画面

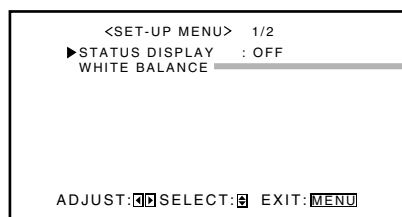


### リセット確認画面へ

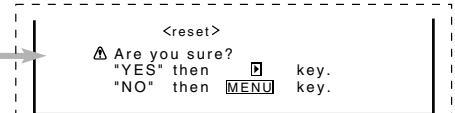
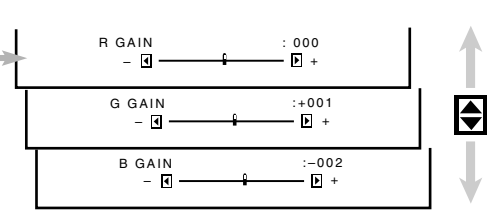
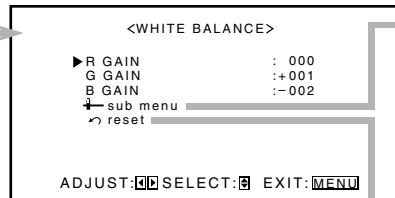
### 入力信号表示 (例: VIDEO入力が選ばれているとき)



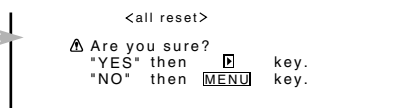
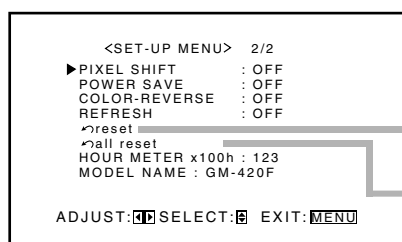
## セットアップメニュー一覧



### ホワイトバランス 調節画面



### リセット確認画面



### リセット確認画面へ

|                        |                                     |                                                     |
|------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| MAIN MENU<br>(メインメニュー) | PICTURE ADJ.<br>(画質調節)              |                                                     |
|                        | CONTRAST (コントラスト)                   | 画像のコントラストを調節します。(16 ページ)                            |
|                        | BRIGHT (明るさ)                        | 画像の明るさを調節します。(16 ページ)                               |
|                        | CHROMA (色のこさ)                       | 画像の色のこさを調節します。(16 ページ)                              |
|                        | PHASE (色あい)                         | 映像の色あいを調節します。(16 ページ)                               |
|                        | SHARPNESS (りんかく)                    | 画像のりんかくを調節します。(16 ページ)                              |
|                        | sub menu (サブメニュー)                   | 調節バーを表示します。(16 ページ)                                 |
|                        | reset (リセット)                        | 画質調節をお買い上げ時の設定に戻します。(16 ページ)                        |
|                        | SIZE/POSITION ADJ.<br>(サイズ/ポジション調節) |                                                     |
|                        | H SIZE (画面の横サイズ)                    | 画面の横方向のサイズを調節します。(17 ページ)                           |
|                        | H POSITION (画面の水平位置)                | 画面の水平位置を調節します。(17 ページ)                              |
|                        | V SIZE (画面の縦サイズ)                    | 画面の縦方向のサイズを調節します。(17 ページ)                           |
|                        | V POSITION (画面の垂直位置)                | 画面の垂直位置を調節します。(17 ページ)                              |
|                        | sub menu (サブメニュー)                   | 調節バーを表示します。(17 ページ)                                 |
|                        | reset (リセット)                        | 画面のサイズや位置をお買い上げ時の設定に戻します。(17 ページ)                   |
|                        | FUNCTION SELECT<br>(機能調節)           |                                                     |
|                        | ASPECT (アスペクト)                      | 画面の横縦比を選択します。(18 ページ)                               |
|                        | reset (リセット)                        | FUNCTION SELECT の ASPECT 設定をお買い上げ時の設定に戻します。(18 ページ) |
|                        | STATUS DISPLAY<br>(入力信号表示)          |                                                     |
|                        |                                     | 入力端子名と信号の種類を表示します。(19 ページ)                          |

|                             |                                       |  |                                                        |
|-----------------------------|---------------------------------------|--|--------------------------------------------------------|
| SET-UP MENU<br>(セットアップメニュー) | STATUS DISPLAY (入力信号表示)               |  | 入力を切り換えたときに、入力端子名と信号の種類を表示するかしないかを設定します。(19 ページ)       |
|                             | WHITE BALANCE (ホワイトバランス)              |  | R GAIN、G GAIN、B GAIN を細かく調節します。(20 ページ)                |
|                             | PIXEL SHIFT (ピクセルシフト)                 |  | 静止画を表示するときに焼き付きを防止(軽減)するために、一定時間間隔で描画位置をずらします。(21 ページ) |
|                             | POWER SAVE                            |  | 画面の明るさを調節して消費電力を制限します。(21 ページ)                         |
|                             | COLOR-REVERSE (カラーリバース)               |  | 静止画を表示して焼き付きなどの残像現象がおこったときに、色反転で軽減することができます。(22 ページ)   |
|                             | REFRESH (リフレッシュ)                      |  | 電源を切ったあと残像が出るようなとき、残像を消すのに使います。(22 ページ)                |
|                             | reset (リセット)                          |  | セットアップメニューの項目をお買い上げ時の設定に戻します。(22 ページ)                  |
|                             | all reset (オールリセット)                   |  | メインメニューとセットアップメニューの全ての項目をお買い上げ時の設定に戻します。(23 ページ)       |
|                             | HOUR METER x100h<br>(アワーメーター x100 時間) |  | 合計使用時間を 100 時間単位で表示します。(23 ページ)                        |
|                             | MODEL NAME                            |  | お使いのプラズマディスプレイモニターの機種名を表示します。(23 ページ)                  |

# 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

## 保証書 (別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

## 補修用性能部品の最低保有期間

プラズマディスプレイモニターの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。のうえ最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは

修理をご依頼になる前に、24ページの「故障かな?と思ったら」に従って確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

### ■保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。  
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### ■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

### ■ご連絡していただきたい内容

|        |                |
|--------|----------------|
| 品名     | プラズマディスプレイモニター |
| 型名     | GM-420F        |
| お買い上げ日 | 年 月 日          |
| 故障の状況  | できるだけ具体的に      |
| ご住所    | 付近の目印等も合わせて    |
| お名前    |                |
| 電話番号   | ( ) -          |
| 訪問ご希望日 |                |

### ■修理料金のしくみ

|     |                                                             |
|-----|-------------------------------------------------------------|
| 技術料 | 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。 |
| +   |                                                             |
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。                      |
| +   |                                                             |
| 出張料 | 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。                |

|      |                 |
|------|-----------------|
| 便利メモ | お買い上げの販売店 ( ) - |
|------|-----------------|

## 愛情点検

### ●長年ご使用のプラズマディスプレイモニターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような  
症状は  
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。



ご使用を  
中 止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

一般

|        |                                                |
|--------|------------------------------------------------|
| 型名     | GM-420F                                        |
| フレーム色  | ブラウンメタリック                                      |
| 画面サイズ  | 42V型ワイド                                        |
| アスペクト比 | 16：9（ワイド）                                      |
| 有効画面寸法 | 横幅933 mm×高さ533 mm、対角1075 mm                    |
| 表示画素数  | 852（横）×480（縦）                                  |
| 表示色数   | 約1677万色（RGB各256色）                              |
| 質量     | 36.8 kg                                        |
| 外形寸法   | 横幅1110 mm×高さ645 mm×奥行94 mm                     |
| 使用電源   | AC100 V 50 Hz/60 Hz                            |
| 最大消費電流 | 2.9 A                                          |
| 対応方式   | VIDEO 入力：NTSC<br>COMPONENT入力：480i              |
| 動作使用条件 | 温度0℃～40℃ 湿度20%～70%（非結露）※動作使用条件は設置環境により多少異なります。 |

入／出力端子

|           |                                                                                                               |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| VIDEO     | ・ Y／C入力 Y／C端子×1、<br>Y：1V(p-p)/75Ω<br>C：0.286V(p-p)/75Ω<br>・ コンポジット入力 ピンジャック端子×1、1V(p-p)/75Ω                   |
| COMPONENT | ・ コンポーネント入力（色差信号入力）BNC端子×3<br>Y：1V(p-p)/75Ω<br>P <sub>B</sub> ：0.7V(p-p)/75Ω<br>P <sub>R</sub> ：0.7V(p-p)/75Ω |
| REMOTE    | ・ RS-232C入力 D-sub9ピン端子×1（RS232Cコントロール用）                                                                       |

- このモニターを使用できるのは日本国内のみで、外国ではカラー方式、電源電圧が異なりますので使用できません。  
This monitor set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- モニターのV型(42V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。
- 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張、省略、合成をしていますので、実物とは多少異なる場合があります。
- 記載の商品や名称（IBM、Macintosh、PC98等）は、各社の商標、または登録商標です。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機は「JIS C 61000-3-2適合品」です。

輸送上のお願い

本機は、精密機器のため輸送時には専用の包装材が必要になります。  
当社以外の包装材は、使用しないでください。

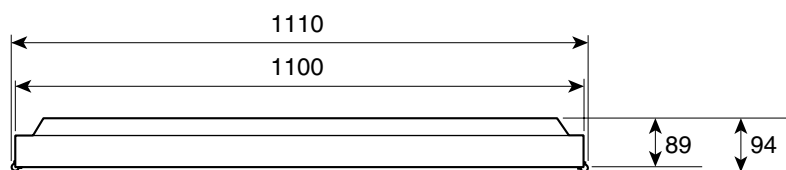
オプション品

- テーブルトップスタンド：RK-C3542TS3  
ウォールマウンティングユニット：TS-C420P2、TS-C420P6、TS-C420P8、TS-C420P9  
モニターハンガーユニット：TS-C420P3  
\*上記以外にもオプション品がある場合がございます。詳細については販売店にお問い合わせください。

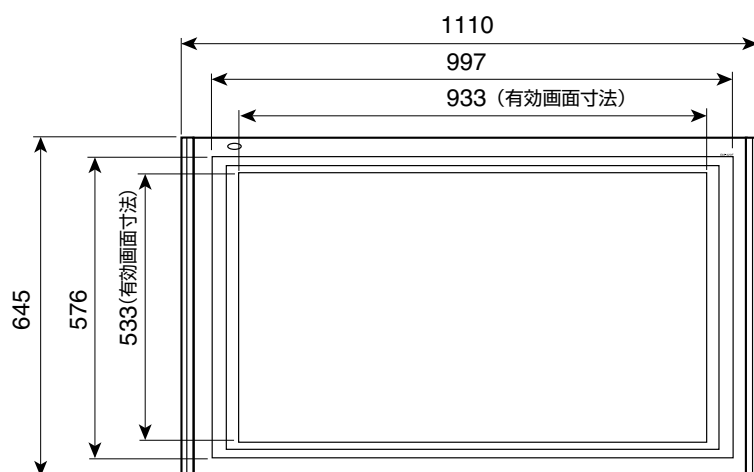
## 外形寸法図

(単位：mm)

### ■上面



### ■前面

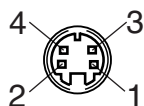


### ■側面



## Y/C入力端子

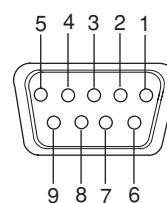
ビデオデッキなどのS映像出力端子と接続します。



| ピン番号 | 信号        |
|------|-----------|
| 1    | グラウンド (Y) |
| 2    | グラウンド (C) |
| 3    | Y         |
| 4    | C         |

## RS-232C端子 [ご注意：端子はメスです。]

パソコンのRS-232C端子と接続します。



| ピン番号 | 信号                        |
|------|---------------------------|
| 1    | DCD (Data Carrier Detect) |
| 2    | RD (Receive Data)         |
| 3    | TD (Transmit Data)        |
| 4    | DTR (Data Terminal Ready) |
| 5    | GND (Ground)              |
| 6    | DSR (Data Set Ready)      |
| 7    | RTS (Request To Send)     |
| 8    | CTS (Clear To Send)       |
| 9    | RI (Ring Indication)      |

ご相談や修理は

**ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、  
お買い上げの販売店にご相談ください。**

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談  
お客様相談センター

**28ページをご覧ください。**



**0120-2828-17**

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

**電話 (045) 450-8950**

**FAX (045) 450-2275**

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

**日本ビクター株式会社**

**AV&マルチメディアカンパニー**

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12